

NEDO Pitch

第34回 “大学発ベンチャー × メディカル・ヘルステック特集”

主催：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

共催：オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会

運営支援：株式会社日本総合研究所

開催日：2019年11月26日（火）

開催場所：Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC)
 ミューザ川崎 5F

プログラム：

18:00~18:05 開会

18:05~18:20 JOIC 活動紹介、テーマ概観、留意事項（事務局）
 政策・業界状況（JST 東出氏）

18:20~20:00 NEDO ピッチ 5件

ピッチご登壇者概要	
BionicM 株式会社	東大が世界をリードするヒューマノイドロボット技術を活用し、義足ユーザーの動作をサポートするパワーアシスト付ロボット義足を開発。市場の99%を占める受動式義足が抱える課題（重量、バッテリー駆動時間、機能・デザイン性、価格等）を解決し、ユーザーの自由で安全な生活を可能にする。今後増加傾向の糖尿病等による下肢切断者のQOL向上を目指す。
PLIMES 株式会社	筑波大学人工知能研究室・サイバニクス研究センター・附属病院未来医工融合研究センターの研究成果を社会に還元する、大学発スタートアップ企業として設立されました。人工知能技術を活用した医療福祉機器および医療福祉システム等の事業化を目指しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・AI・IoT 技術を用いた嚥下機能計測技術による、世界に先駆けた「嚥下計」の実現 ・新たな嚥下 POCT 医療機器研究開発 ・1日でも長く食事を楽しむための、福祉サービスの提供
CoreTissue BioEngineering 株式会社	弊社は、早稲田大学理工学術院岩崎清隆教授が開発した、1) 生体組織から細胞成分を除去する技術、2) 強度保持が可能な生体組織滅菌技術の2つを応用し、生体組織を原料にした膝前十字靭帯再建術に用いる移植用グラフトの製品化・事業化を行っている。体内に移植されると自己組織化するこの医療機器の実用化により、患者さん自身の健康な腱を採取して移植する現在の標準的な治療に置き換わる治療方法になると期待されている。
京ダイアグノスティクス株式会社	抗がん剤治療の現状は、投与しないとその効果はわからず、数回に分けて効果のある薬剤を投与するため、奏効率は1~2割程度と言われている。その間、患者への負担は、副作用や医療費含め高まる一方となっている。当社は、患者から抽出したがん組織を用いて抗がん剤の薬剤感受性を試験する京大発ベンチャーである。投与前に抗がん剤を選定することで、効果的な抗がん剤治療、QOLの改善、医療費の削減を目指す。

株式会社 FuturedMe	FuturedMe は、タンパク質分解誘導剤による創薬を実現するスタートアップ企業です。膵がんなどの重篤な病態では、新たな治療薬開発が必要とされながら、化合物設計の難解さなどの技術課題がありました。我々が発明した化合物設計技術では、生体に備わるタンパク質分解機能を疾患標的タンパク質に向けることで標的タンパク質の分解を誘導するため、従来の手法では実現困難であった創薬標的に対しても有効であることが期待されます。
----------------	---

20:00 ~ 20:05 まとめ・閉会

20:05 ~ 名刺交換会